



被爆80周年
《Piece of Peace》
～平和のかけら～

広響
名曲コンサート



©BAKI

©Géza Anda-Foundation/
Dmitry Khamzinin

広島国際会議場フェニックスホール

広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

料金(1回分) \$Y5,000(ペア¥8,000) A¥4,000 BY¥3,000 (学生¥1,500)

※税込・全席指定 ※学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い)

チケット発売日 2025年11月10日(月)

チケット取扱い 広響事務局、JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

音楽の花束 〈春-秋-冬〉



2024国際コンクールの優勝者を迎えて

「名曲」-それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。

名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。

2025年度は2024年に開催された国際コンクールから、広島と浜松、チューリッヒの各コンクールの優勝者を迎える

歴代の作曲家たちの「第1番」のコンチェルトとシンフォニーで纏めました。

才能あふれる若きアーティストたちの華やかなステージにご期待ください!

《冬》 2.28 [土] 15:00 | 開演 14:00 | 開場

指揮 デイヴィッド・レイランド

ピアノ イリヤ・シュムクラー (第16回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール 優勝)

ショパン: ピアノ協奏曲第1番ホ短調作品11

シューマン: 交響曲第1番変ロ長調作品38「春」

主催: 広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社



助成:

文化庁
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

特別協賛: 中国電力 協賛: 株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会
お問い合わせ 広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間/平日 9:00~17:20] <http://hirokyo.or.jp>



広響
名曲コンサート

音楽の花束 〈春秋・冬〉

〈冬〉

チューリッヒで開催されているゲザ・アンダ国際ピアノコンクールは、日本ではあまり知られていないが、

1900年代半ばに活躍した名ピアニストであるアンダ・ゲーザの名を冠したコンクールで、1979年以来3年に1回の割合で開催されている。

過去日本人の優勝者はいないが、藤原由紀乃が第3回大会で1位なしの2位で最高位を受賞(第4回大会でも2位)。

第9回大会で河村尚子が3位を受賞した。2024年に開催された際には、広響に関係が深い細川俊夫とマルタ・アルゲリッチが審査員を務めたことで、

当コンクールの優勝者を出演者として招くこととなり、モスクワ出身のイリヤ・シュムクラーが見事優勝を飾った。

シュムクラーは、コンクールへの挑戦やリサイタル等で度々日本を訪れ、2019年の第3回Shigeru Kawai国際ピアノコンクールでも優勝している。



©BAKI

指揮:デイヴィッド・レイランド

David Reiland, Conductor

ベルギー出身。モーツアルトの指揮に定評があり、注目される。ザルツブルク・モーツアルテウム管の副指揮者を経て、2018年からフランス国立メス管(旧フランス国立ロレーヌ管)とローザンヌ・シンフォニエッタの音楽監督を務めている。また、2020年にデュッセルドルフ響の「シーマン・ゲスト」、2022年には韓国国立響の音楽監督・首席指揮者に就任した。

ベルギー国立管や王立リエージュ・フィルなど自国のオーケストラと定期的に共演するほか、近年はトゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ベルリン・コンツェルトハウス管、都響、京響、大阪フィルなどにも招かれている。

オペラにも積極的で、ソウル、ジュネーヴ、アントワープ、ライプツィヒ、ベルリンなどでモーツアルト《魔笛》《コジ・ファン・トゥッテ》《皇帝ティートの慈悲》などのほか、《フィデリオ》《カルメリ派修道女の対話》《トスカ》《椿姫》《エフゲニー・オネーギン》《ナブッコ》《サムソンとデリラ》《ホフマン物語》《ファウスト》《真珠採り》《マハゴニー市の興亡》といった作品を指揮している。

録音も多く、ゴダールの交響曲第2番やオーベールのオペラ《水の精》など、演奏機会が稀な作品のCDをリリース。



©Géza Anda -Foundation/
Dmitry Khamizin

ピアノ:イリヤ・シュムクラー

Ilya Shmukler, Piano

2024年ゲザ・アンダ国際ピアノコンクールで第1位に輝き、4つの主要部門賞を受賞。

これまでにミハイル・プレトニョフ、パーヴォ・ヤルヴィ、マリン・オルソップ、ニコラス・マギーガン、広上淳一、アン=マリー・マクダーモット、アントン・ネル、デイヴィッド・ラジンスキらと共に演奏。チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ヴィンタートゥール音楽院、マリインスキー劇場、フォートワース交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、カンザスシティ室内管弦楽団、バイエルン交響楽団、ニューミュージック・オーケストラと共に演奏した。

2022年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでファイナリストに選出され、「モーツアルト協奏曲最優秀演奏賞」を受賞、さらに同年カーネギーホール・デビューオーディションに優勝し、ニューヨークでデビューを飾る。

モスクワ音楽院をエレナ・クズネツオワとセルゲイ・クズネツオフの指導の下、卒業。現在はパーク大学(米国)でスタニスラフ・ユーデニッチに師事し、研鑽を積む。